

誕生日の歌

校 長 武井 正明

誕生日に纏わる好きな3つの曲があります。今日はそれを皆さんに紹介しましょう。

【さだまさし HAPPY BIRTHDAY】

この曲が発表されたのは1980年、私は中学2年。この曲のフレーズがよく浮かんだ時期が高校1年だった。さだの曲は、まず歌詞をじっくり読んでから聴くことが多かった。

♪～誰にだってひとつやふたつ 心にかかずに部屋がある

一生懸命生きているのに 傷を恥じることなど ないさ

♪～人は人だしあんたはあんた 別に張り合うことなど ないさ

当時、自己嫌悪の塊だった自分。日々人から見れば些細なことにいちいち捻くれていた自分の心を、さだまさしに見透かされ、慰められているようで刺さった。

今でもこの歌詞はすぐに出てくる。間違いなくこの歌に励まされた時代が、あった。

【井上陽水 Happy Birthday】

陽水は小学6年時、歯科医だった父親が提案した「誕生日パーティー」を「第二次反抗期」を理由に拒否したという。陽水は「歯科医の跡継ぎ」という宿命を背負いながら大学受験に落ち続け「受験慣れ」が原因で三浪が決まった時点で、その宿命と決別し音楽界に身を投じた。それが「氷の世界」の井上陽水に繋がるのだから人生はわからない。

♪～君は恋をしないから 角のとれたトランプで遊んであげる 今日だけ

ハートを引くんだ ハートを集めて僕より早くあがれよ

陽水が若い頃の曲。でも今でも全く古臭さがない。このちょっとひねた感じの歌詞が自分には堪らなかった。こんなフレーズ、俺には一生かかっても浮かんでこない。

このふたりは恋人？友達？男性は片思い？君には自分から離れて幸せになってほしいってこと？こんな女友達がいたら、結構楽しいだろうな…。

こんなことを聴き手に考えさせてしまう陽水は、やはり天才だ。

【玉置浩二 HAPPY BIRTHDAY～愛が生まれた】

♪～君を泣かせた日も 笑わせた時も 僕は星に祈ってた

たとえどんな時も そばにいるって それだけ信じて欲しい～

玉置浩二は大ヒットした『田園』の後、音楽活動に行き詰まる。生活の拠点を軽井沢に移した時期に大自然のなかでできた曲。この曲を聴くとまだ幼かった娘の面影が浮かぶ。アパート3人中心に萌子。誕生ケーキにろうそくを立ててハッピーバースデーを歌った…。

吉中生 551 人教職員も入れると 600 人以上。卒業生を全部入れると 2 万人以上。あたりまえだけど、総ての人の誕生日が 365 日の中に入っているって素晴らしい!!

今日も3年生ふたりの誕生日です。スキーを頑張っている君と文武両道のあなた。

Happy Birthday!! 15歳おめでとう!!